



北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

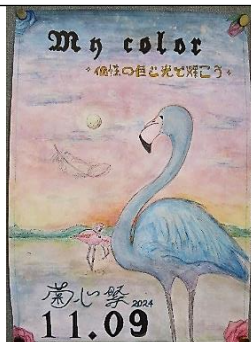
菊池北中学校
学校だより
No27
文責 芹川博文
11月8日(金)

いよいよ明日は菊心祭

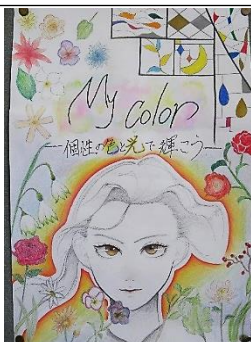
今年度テーマ「My color ～ 個性の色と光で輝こう ～」



グランプリ
3年 畑 美瑠



校長賞
3年 松岡 美穂



実行委員長賞
3年 坂口 優奈



生徒会長賞
2年 松永 祐佳



評議委員長賞
2年 葛原史朗

上の絵は、菊心祭ポスターコンクールで入賞した5名の作品です。どれも個性輝く作品です。

劇のテーマ 1年,水俣病問題 2年,男女共同参画 3年,高校間格差

～ 北中が大切にしてきた人権学習「知ること、考えること、行動すること」～

各学年とも劇を発表しますが、そのテーマにはつながりがあります。どれも人権問題を取り上げています。1年生の水俣病問題、2年生の男女共同参画、そして3年生の高校間格差問題も、生活の中で「おかしい」と気づき、当事者の思いを知り、考え、行動していくことの大切さを訴えます。

人は、分からない時や不安な時、噂を信じたり誰かを非難したりすることがあります。コロナ禍の時がそうでした。感染した人や医療に携わる人、県外ナンバーの車が非難され差別されるという悲しい出来事が多発しました。先入観や思い込み、噂、決めつけ・・・それらが、私たちの心のつながりを切っていました。

今回の劇の中には楽しい場面もたくさんあることでしょう。しかし、いや、だからこそ、その根底にある伝えたい思いを受けとめ合い、誰もが安心して生活できる、心から笑い合える学校や社会を目指したいものです。

聞くところによると、菊心祭の劇は、毎年人権問題に関するテーマで伝えているとのこと。これまでの先輩たちもこだわってきた人権の学び。今年の生徒たちが、今年でしかできない劇で伝えます。是非、彼らの個性の色と光を感じてください。(プログラムは本日配布しています。)

小さなところにも「必見」が目白押し

～ 共に歩みだす力を得る そんな菊心祭に ～

朝早くから登校し、教室や体育館で練習する生徒たち。授業の中で準備や練習をしていく緊張感や盛り上がり、昼休みや放課後の合唱練習、オープニングを飾る吹奏楽部、そして「舞台裏」も含めた生徒会執行部の全体的な準備。菊心祭を目指して生徒たちは沢山の時間を重ねてきました。小さなところにも目を留め、成長の跡を感じていただければ幸いです。そして、生徒たちがこの菊心祭をとおして、なかまと繋がり合うことの良さを体感し、どんなに困難な状況や不安な状況の中でも、共に歩み出す力を得る、そんなステップになればと願います。

最後に、英語弁論で発表する 菊川 乃愛さんのスピーチ原稿の一部を紹介します。

We each have our own troubles, but when we share our feelings, we can create strong bonds, even if they are not solved.

“Seeing Through Different Eyes” 3rd grade Noa Kikukawa

私たちには それぞれ抱えている悩みがある。しかしその思いを分かち合う時、強い絆が生まれる。たとえその悩み自体は解決してなくても。

「見方を変えること」 3年 菊川 乃愛 (※高円宮杯英語弁論大会原稿より)